

各 位

上 場 会 社 名 タケダ機械株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 竹田 雄一
 (コード番号 6150)
 問 合 せ 先 取締役管理部長 鈴木 修平
 (T E L 0761-58-8231)

**2022年5月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異、
 通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ**

2021年7月14日に公表しました2022年5月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月期通期連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年5月期の連結業績予想について

(1) 2022年5月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異(2021年6月1日～2021年11月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,882	12	18	12	13.05
実績値 (B)	2,083	119	142	90	98.73
増減額 (B - A)	201	107	124	78	
増減率 (%)	10.7	897.4	694.3	656.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年5月期第2四半期)	1,534	19	66	47	51.51

(2) 2022年5月期通期連結業績予想数値の修正(2021年6月1日～2022年5月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,000	90	100	65	70.68
今回修正予想 (B)	4,200	200	240	155	168.54
増減額 (B - A)	200	110	140	90	
増減率 (%)	5.0	122.2	140.0	138.5	
(ご参考) 前期実績 (2021年5月期)	3,500	102	178	118	129.36

(3) 差異及び修正の理由

2022年5月期第2四半期累計期間の業績は、2020年5月期の第4四半期から引き続き新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響において予断を許さない状況が継続しているものの、展示会の中止による商機の消失、著しい景況の悪化に伴うお客様の機械稼働の低下といった厳しい事業環境は段階的に改善しつつあり、お客様の設備投資を促す補助金等の後押しに費用の削減や雇用助成金の収入が加わり、業績は予想数値を上回る結果となりました。

このような第2四半期累計期間の結果と最近の業績動向等を踏まえ、2021年7月14日付「2021年5月期 決算短信」にて公表しました2022年5月期通期連結業績予想を修正することといたします。

なお、当該感染症が及ぼす影響は現在一部の製造部品について納期の長期化を引き起こし、当該感染症の新たな変異株が出現するなど、その状況を変化させながら進行していることから収束の予想が難しく、将来における不確実性が高くあり、実際の業績等は今回の業績予想と大きく異なる可能性があります。公表すべき事案が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 2022年5月期の配当予想について

(1) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	0.00	—	30.00	30.00
今回修正予想			—	40.00	40.00
当期実績 (2022年5月期)	—	0.00			
前期実績 (2021年5月期)	—	0.00	—	30.00	30.00

(2) 修正の理由

当社の配当政策は、当社グループの経営体質の強化と将来の事業展開に向けて必要な内部留保を確保しつつ、配当性向、業績を総合的に勘案した配当を継続していくことを基本方針としております。

このような配当政策と1項に記載しました通期業績予想の修正を踏まえ、当事業年度の配当予想について、前回発表予想の修正を行うものであります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上